



熊本大学YMCA  
 花陵会メンバー  
 うるきこうへい  
 鵜木康平さん

## 熊本大学YMCA花陵会との出会い

熊本大学大学院で岩石学・鉱物学を専攻する鵜木康平さん。「今から2年半前、YMCAに出会ったことで僕の人生観は大きく変わりました」。鵜木さんは「熊本大学YMCA花陵会」のメンバーであり、寮生。学生YMCAとは学生寮や大学、専門学校を拠点に学生の自治運営を伝統としてYMCA活動を行うグループのことです。全国には10の学生YMCA寮を含む34のグループがあり、中でも花陵会は、明治初期、日本のプロテスタントの源流の一つとなった熊本バンドの流れをくむ学生YMCAです。

大学4年生の6月、翌年の大学院進学を控えて生活費や学費をどう賄おうかと考えていた鵜木さん。先輩から「月9,000円で生活できる寮が大学のすぐ横にある」と紹介してもらい入寮しました。「それまでYMCAはもちろん、キリスト教との接点は皆無でした」。入寮を決めたのは、とにかく寮費が安いから。「でも、週1回の聖書研究や牧師との交流は『キリスト教を学ぶ』いい経験になっています」。10名の学生が暮らす寮は築90年近くの歴史ある建物です。「毎年、5〜6組の見学者がやりますが、実際に入寮を決める人は2名ほど。寮を見て、親御さんが『こんなに古い建物に息子は住まわせられない』と言ってよそに行っちゃいます」と苦笑します。全国の学生YMCA寮の老朽化は課題ではあるものの、一方で海外でのボランティア活動の機会などもあり、全国各地の学生YMCAとのネットワークで学生自ら様々な交流活動を企画して実践、継続していることは大きな魅力です。事実、現在に至るまで全国の学生YMCAは優秀な人材を各界に輩出してきました。アフガニスタン支援に尽力した医師の中村哲さん(享年73歳)もその一人です。

## 「天命」を見つめる旅の途中

### 大学院を休学してミャンマーへ

入寮した鵜木さんは2019年、全国の学生YMCAから参加者を募るインドスタディーキャンプに参加しました。インドの農村地に滞在し、差別や貧困といった社会的課題について学び、自らの生き方を考えることを目的として20年以上続くプログラムです。「大学4年生の時に海外に興味を持つようになって、インドスタディーキャンプに参加したり、自分で海外に行ってみたりして『海外、特にアジアに住んでみたい』と思うようになりました。僕は何かに関心を持ったらとことん追求する性格です。大学院進学と同時に1年休学してミャンマーに行くことを決めました。僕の曾祖父はインパール作戦\*の数少ない生還者だと子どもの頃に祖父から聞いていました。今考えると『いつかはミャンマーに行くんだ』という気持ちがあったのかもしれない」。



今年2月までミャンマーに滞在

鵜木さんは現地企業にインターン登録。ビザを取得して首都ヤンゴンに渡りました。経済発展著しいヤンゴンには近年、多国籍企業の進出が続いています。鵜木さんはビジネスを通じて様々な国籍の人々と交流を深めました。

※ビルマ(現ミャンマー)からインドにあるイギリス軍の拠点インパールを攻略する作戦。日本の兵力約10万人のうち約3万人が命を落とし、約4万人の傷病兵が出たとされ、「史上最悪の作戦」と呼ばれる。

### 立ち止まらずに行動し続ける

ミャンマーでは休日にボランティアも積極的に行った鵜木さん。「農村の学校建設を通してコミュニティづくりを行うNPOに関わったり、医療支援NPO活動で医師と一緒に寺を回ったりしました。現地での出会いと活動を通して、こんな生き方があるのかと気づかされました」。

謙虚な口ぶりや話の端々から誠実さが伝わってくる鵜木さんですが、学びと経験に裏打ちされた揺るがない信念があります。「あるNPOの職員が『天命に従って生きよ』と話して聞かせてくれたことを覚えています。『自分は何かを期待されて生きているはずだから』と。人のために生きていくってカッコいいな、と思いました。帰国して大学院に戻った今も『僕の天命は何か』という自分への問いかけを忘れないようにしています」。学生YMCAでの経験も天命を見つける過程だという鵜木さん。コロナ禍でも立ち止まりません。

「何かが自分のところに流れてくるのを待つだけではないと思うんです。コロナ禍の今でも何かしら一歩踏み出すことはできるはず。行動し、人と出会っていく中で、自分の役割をみつけるチャンスが転がっている。学問も含め、『何かを与えてもらう』のが学生だとすれば、僕はこれまで経験したことをいつか社会に還元したい。そのための力をつけたいですね。卒業後は、海外で人々に貢献できる職業に就くことでこの想いを具体的な形にしていきたいと思っています。それが今の僕にとっての『天命に従って生きる』ことです」。

## Pickup

国道57号線北側  
 復旧ルート開通  
 YMCA尾ヶ石保育園  
 園児が虎舞を披露



放課後等デイサービス  
 自由なイルカたち  
 お月見制作

ぶどうの木幼稚園  
 運動会





# YMCA

## 年末募金

こども 若者 国際協力

YMCAは出会いとつながりを大切に  
互いを認め合い、高め合う、「ポジティブネット」の  
ある豊かな社会の実現に向けて、お寄せいただく  
募金を地域の希望や活力に変えていきます。



### Voice

こどもえいごスクール在籍  
伊藤凜久くん(小学6年生)  
礼子さん(お母様)

経済的な困難を抱える子どもたちのYMCAプログラム参加費を募金で補助する「参加費減免制度」。この制度を利用する伊藤礼子さん、凜久くん親子にお話をうかがいました。

**礼子さん** 県外から熊本に戻り、息子にはしばらく習い事をさせていませんでした。英語教育のある保育園に楽しそうに通っていたことを思い出し、英語を学べるところを探して見つけたのがYMCAです。私が仕事をしているので、バスでの送迎もありとても助かっています。

「今日はどんなことをしたの」と聞くと、その日に学んだ発音を教えてくれるんです。思い出せない時は、テキストを開いて自分で確認しています。小学校の英語のテストで100点をとって、賞状をもらったこともあるんですよ。家で勉強している姿はあまり見ないけれど、毎週続けてきたことが身につけているのかな、と思っています。

参加費減免制度のことを知ったのは今年の今頃。年末募金の案内の中で紹介されている



のを見ました。来年、年長に上がる次男にも習い事をさせてあげたいと思っていたところでした。うちはひとり親家庭なので、「この制度が使えるなら、二人ともYMCAに通わせてあげられるかも」と思って申請しました。下の子は身体を動かすほうが向いていそうなので、体操教室かプールに通わせられたらと思っています。

えいごスクールでは他の学校のお友だちや、外国人の先生とお話をする機会があって、学校だけでは味わえない体験ができるので、通い続けることができてありがたいです。凜久から「行きたくない」とか「やめたい」という言葉を聞いたことは一度もありません。YMCAには英語を学ぶだけではなく、キャンプなどたくさんのプログラムがあるので、これからいろいろな経験をしてほしいです。中学、高校になっても楽しく英語と一緒に成長してくれたらうれしいですね。

**凜久くん** YMCAでは、ゲームや遊びも交えながら英語を勉強できるから楽しいです。一緒に参加している子が、分からないところを教えてください。



学校で英語の授業が始まった時、最初は「難しいのかな?」と思っていたけれど、YMCAでの勉強を活かしていると思います。皆の前でのスピーチなど、恥ずかしい時もあるし、初めて英検5級を受けた時は結果が出るまで緊張していました。でも自分の成長につながると思うので頑張っています。

将来の具体的な夢はまだ決まっていません。これからいろんな夢を持てるように、英語を学び続けたいです。

### 募金の使途

- こどもたちの支援
- ボランティアリーダーの育成
- 学生・留学生の支援
- 国際協力
- 健康・福祉支援
- 災害復興支援



### 募金の方法

#### 持参

お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。

#### お振込み

郵便振替や銀行振込で受け付けています。  
お振込み先はWebサイトをご確認ください。

#### クレジットカード

Webサイトではクレジットカードによる募金が可能です。



#### 行事への参加

新型コロナウイルスの影響を鑑み、各チャリティ行事も工夫をしながら新たなチャレンジをしています。(4面に関連情報)

#### 募金箱の設置

設置可能なお店等がありましたら、お申し出ください。



## YMCA年末募金

【期間】2020年11月1日～2021年1月31日  
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金





## R | E | P | O | R | T

[ 9月25日⇒ 10月11日 ]

## こどもえいご 英語で楽しもう

9月27日(日)、リフレスおおむたでこどもえいごデイキャンプを行い、年長から小学6年生の30名が参加しました。

コロナ禍でストレスを感じてしまっている子どもも多い今、キャンプの中で思い切り体を動かし、挑戦と成功を体験してリフレッシュしてもらいたいと考え、今年のキャンプテーマを「チャレンジ」としました。子どもたちはボルダリング、ウォータースライダー、タグゲーム(鬼ごっこ)の3つの活動に挑戦。午前中に英語を学習した後、午後からは外国人のグ

## チャレンジキャンプ

ループリーダーたちと一緒に英語を使いながら積極的に活動に参加してくれました。「ボルダリングで9ポイントとれたよ」「ウォータースライダー、回転しながら滑れたよ」「タグゲームでリーダーと逃げて、捕まらなかったのが楽しかった」と笑顔で様々な感想を教えてくださいました。

今回のキャンプでは子どもたちが無邪気に楽しむ笑顔をたくさん見ることができました。皆さん、また次のえいごキャンプで会いましょう。

職員 中村恭浩



## IT 豪雨避難所でプログラミング Amazon Future Engineer

10月4日(日)と11日(日)の2日間、熊本YMCAが運営を担っている旧多良木高校の避難所で子どもたちを対象にプログラミング教室を実施しました。今回はWebサイト作成にチャレンジ。子どもたちは2日間でタイピングスピードや入力コードに対する理解が見違えるほどに。リーダーに手伝ってもらいながら自分たちのサイトを作成しました。

姉弟で参加した2人は、教室の2日目が退所日。「タイピングが苦手だったけど、参加したら楽しかった」と感想を話してくれました。避難所とのお別れ

の時には、一緒に参加していたお友だちが大号泣。プログラミングという経験だけでなく、仲間と過ごす楽しい時間を共にすることができ、携わったリーダー全員がうれしい気持ちになりました。

この教室はAmazonとYMCA、Life is Tech!が協力して行うプログラムで、今後、YMCAの拠点でも開催予定です。知識や経験を積むだけでなく、つながりや感動、自分の可能性の広がりを感じられるような場所を提供していきたいと思います。

職員 眞西優治



## 国際 熊本・台湾のシニア 体操でリモート交流

新型コロナウイルスの影響で、日本に旅行や留学をしたくてもできない状況にある今年。台湾・高雄のシニアの人たちに、熊本への関心・興味を持ってもらおうと、9月25日(金)、日本文化を紹介する「シニア中秋交流会」を実施しました。

日頃からつながりが深い、台湾の高雄YMCAからシニアが25名、熊本YMCAからは「マッする体操」の参加者13名が参加し、中秋節の交流をリモートで行いました。まず、双方の職員がそれぞれの中秋の過ごし方を説明。台湾の中秋は、月餅や文旦を食

べ、皮を頭にかぶる習慣があり、最近では中秋に焼肉を食べることが流行と聞き、熊本の皆さんは驚いた様子でした。その後、熊本から転倒予防歩行運動、高雄からはノリのいい「ダレデモダンス」を披露。交流会では、熊本の一人の参加者が、直接中国語で話をする場面もあり、大いに盛り上げました。海外旅行が気軽にできない現在、このような形でも両国がつながりを保ち、交流を続けていくことは非常に有意義であり、YMCAが担うべき役割であると思いました。

職員 大宅登貴子



## 健康家族

近年、子どもたちの体力低下が叫ばれています。スポーツ庁が実施した2019年度の体力・運動能力調査の結果、青少年期は1960年代と比べ体格は大きく上回った一方、筋力は低下しているといえます。昨年度の数字ですのでコロナ禍におけるステイホームや学校の休校等、日常が大きく変化したことによる影響は反映され

ていません。この状況では肥満や疾患など様々な事態が懸念され、健康寿命に影響するとも言われます。子どもたちの未来のために家庭と学校と地域が連携し、社会全体で考えなければならぬ重要な課題です。

子どもたちは複数で外遊びをすることがなくなり、ゲームやネット動画のような体を動かさない娯楽が定着しています。また、学力を偏重し、運動を軽視している傾向も見受けられます。日常の遊びやお手伝いが子どもたちの体力養成に結びついていた時代もありました。しかし、今ではそのような機会も減り、夜型の生活を送っている場合もあります。そうすると、睡眠不足で朝起きることができない、朝食を食べないといった乱れが生まれます。

健康的な生活をするために、家族全体での習慣づくりが大切です。できれば、幼児期から始めることが望ましいでしょう。栄養のバランスを考えた食事をできるだけ規則正しくとり、長時間の動画視聴やゲームの夜ふかしは控えめです。日頃から徒歩や自転車での外出をするなど、家族で体を動かす時間を設け、家庭の中でも身体活動を積極的に取り組めるといいですね。我が家は二世帯家族のためなかなか全員は揃わないのですが、コロナ禍の今こそ、家族の絆を深めながら健康家族を目指したいものです。YMCAも、感染症対策を講じながら行う子どもたちや子育て世代の皆さんへのプログラムを通して、健康について見直す機会をつくるお手伝いをしたいと思います。

t a l a n t o n



# Information 行こう 見よう 深めよう

11月21日~29日

## はなれていてもつながっているチャレンジ インターナショナル・チャリティーラン

SNS  
×  
チャリティー

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会をめざし、全国で開催されています。第5回となる熊本大会は新型コロナウイルス感染防止の観点からリモート大会にチャレンジします。

開催期間 2020年11月21日(土)~11月29日(日) 申込期間 申込受付中~11月15日(日)

費 一般/小学生以下500円、中学生以上1,500円 ファミリーラン1家族/2,000円  
団体/一般参加費×参加人数(例:大人4名 子ども1名参加 1,500円×4名  
+500円×1名=6,500円)※保育園、幼稚園に限り、募った募金を参加費とします。

詳細・申込はWebで▶



- ①Webサイトから申込み・参加費お支払い
- ②事務局から参加賞をお渡し  
中学生以上の参加賞はマスク
- ③参加賞をつけて、写真・動画を撮影
- ④「#熊本YMCAラン #つながっていきマス」を付けてSNSに投稿

## 新たなチャレンジ YMCA祭

祭  
×  
募金

今年のYMCA祭は新型コロナウイルスの影響をふまえ、バザー出店形式に代え、様々な工夫をして新たなお祭りを実施します。益金はYMCA年末募金に充てられます。期間・内容の詳細はWebサイトをご覧ください。



### 前進祭

- ①特設サイトオープン・動画配信
- ②ミニのみの市
- ③クラウドファンディング

図 YMCA中央センター  
(熊本市中央区新町)  
Tel 096-353-6391



### ながみね祭

- ①オリジナルDVD販売
  - ②紹介型コンテスト(デコマスクコンテスト・ステイホーム紹介コンテスト)
  - ③チャリティーオークション
- 図 ながみねファミリーセンター(熊本市東区長嶺南)  
Tel 096-385-0676



12月31日~1月1日

## カウントダウンキャンプ

キャンプ  
×  
家族

毎年恒例、阿蘇キャンプのカウントダウンキャンプ。阿蘇の大自然の中でリフレッシュしながら、楽しく新年を迎えましょう。

回1泊2日 2020年12月31日(木)~2021年1月1日(金) 集合・宿泊・解散  
YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰) 図5家族  
感染症対策のため、募集定員を減らして開催します。 費 大人(中学生以上) 13,300円/小学生 9,000円/未就学児 4,000円  
図 YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124



### テントをいただきました

一般財団法人日本宝くじ協会様より、集会用テント3張を寄贈いただきました。テントは熊本YMCAの3拠点に配布され、さっそくバザーや運動会で使用しました。今後もそれぞれの地域活動やイベント等で有効に活用いたします。



回日時 図会場 図内容 図参加費 図定員 図参加条件 図持ち物 図対象 図主催 図締切 図申込 図問合せ 図その他

私達は時々、決断を先延ばしにすることがあります。勿論熟慮することは大事です。しかしどんなに熟慮しても答えがでない時には、さっと決断をしてみることです。もし私達がその事により大きな痛みを負うことになっても、神は回復とやり直しの機会を必ず備えてくださいます。人生でもし大きな失敗があるとするれば、それは失敗を恐れ何一つ決断をしない事ではないかと思えます。ペテロの実直なまでの素直な決断は、今も私達に多くの事を語っていると思います。

私達は時々、決断を先延ばしにすることがあります。勿論熟慮することは大事です。しかしどんなに熟慮しても答えがでない時には、さっと決断をしてみることです。もし私達がその事により大きな痛みを負うことになっても、神は回復とやり直しの機会を必ず備えてくださいます。人生でもし大きな失敗があるとするれば、それは失敗を恐れ何一つ決断をしない事ではないかと思えます。ペテロの実直なまでの素直な決断は、今も私達に多くの事を語っていると思います。

「急いで事は仕損じる」急いではいけない。焦ると失敗しやすい。よく耳にする言葉です。しかし、はたしていつでもそうなのでしょう。この話はイエスがペテロを弟子にした時の言葉です。漁師であったペテロは漁をやめたところか、家族とも離れ、「網を捨て」仕事を捨て、なにもかも捨てて、イエスのもとにきました。それもすぐにです。

人間には決断の時があります。漁師のペテロはこれからの自分の進む道を探し求めていました。自分のこれからの仕事はこれでいいのだろうか。そしてイエスに出会い結論を出したのです。苦悩はしたでしょうが、決断は一瞬でした。「イエスに従った。」のです。そしてイエスはペテロに言います「あなたをこれから、人間をとる漁師にしてあげよう」と。

### 急いで事は仕損じる？

二人はすぐに網を捨てて従った。

マルコによる福音書1章18節

### わたしと聖句

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団  
希望ヶ丘キリスト教会  
本堀秀一



発行所/(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8  
TEL 096-353-6397(代)

発行人/岡 成也 編集協力/pros creative  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

### 2020年度基本聖句

テサロニケの信徒への手紙一 5章13節  
愛をもって心から尊敬し 互いに平和に過ごしなさい。